

「総本山智積院団体参拝」実施

泉蔵院だより

第17号

発行／真言宗 智山派 泉蔵院
住所／〒340 0031 草加市新里町三三三
TEL／048(927) 5327
FAX／048(927) 7036
平成二十四年三月発行

昨年十月十六日より二泊三日の日程で、真言宗智山派「総本山智積院」を参拝して参りました。参加者は密蔵院、正源寺、泉蔵院三ヶ寺の檀信徒総勢九十二名であり、バス二台に分乗して十六日、早朝六時に路、羽田空港に向いました。

羽田空港より広島空港に降り立ち、先ずは最初の訪問地「広島平和記念資料館」、「原爆ドーム」を見学、戦争、特に原爆の恐ろしさと悲惨さを改めて確認、資料館では、言葉の出ない様子でありました。



亡くなられた多くの被爆者に黙祷「同じ過ちは二度と繰り返しません」の言葉を心よりお唱えして参りました。

その後、広島市内の食事処で広島名物、お好み焼きに舌



鼓を打ち、バスは世界遺産「芸の宮島」へ。船にて約十分、海から望む「厳島神社」は平清盛の時代も同じ風景だったのかと、古の時代にしばし想いを募らせる時でした。船が着くと直ぐに厳島神社への参拝となりました。厳島神社は過去、数度の台風による被害を乗り越え、今も水面に雅な姿を映しており、特に朱色に輝く大鳥居は潮の満ち引きにより歩いて行くこともでき、今回は翌朝の干潮時に多くの人が歩いてこられました。又、今回は時間の関係で行くことができな

かったのですが、宮島にはロープウェイがあり、原生林を越えた山中「弥山」に、弘法大師が護摩を焚かれたお堂があり、その護摩の火は今に消えることなく灯され続けております。

翌十七日、朝八時十五分、投宿したホテルみやや離宮を出立、宮島に想いを残しながら、今回の旅の目的である京都総本山智積院へと新幹線に乗車、日中参拝(午後時よりの法要参拝)をして参りました。金堂での法要には密蔵院、泉蔵院の御詠歌講により「総本山智積



院讃仰和讃「同行和讃」が奉詠され法要に花を添えました。法要後、今年、能化様にご就任された寺田信秀大僧正殿下より、智積院が今まで多くの先師方により見事に興隆、復興を遂げられたお話を伺って参りました。九十二歳をお迎えになられたとは思えない豊饒としたお姿に同感銘を受け心より敬意を表して参りました。今後も我々末徒にお導きをお願い申し上げます。

本山での法要、参拝を無事に済ませ、部長方のお見送りを受けながら、バスは特別拝観中の「東寺」へ。特に講堂内の立体曼荼羅に皆さんの関心が集中していました。東寺よりは琵琶湖を目指し、湖畔にある緑水亭に宿泊。その夜は、本山参拝を済ませたこともあり、料理にお酒、カラオケにと興じ、大いに盛り上りました。

翌、最終日十八日は、先ず西国札所である「石山寺」に参拝、残念ながら多宝塔は工事のため見ることはできませんでしたが、代りに紅葉を楽しむことができました。次に、築城四百年を迎えた国宝「彦根城」を見学、続

いてNHK大河ドラマ「江の活躍の舞台となった」長浜」の散策、思い思いに昼食をとり、主な行程を消化することができました。



米原より新幹線にて帰路につき、東京駅よりバスにて各寺に向い、めでたく解散となりました。

今回の団参は特に参加者が多く行き届かない所もあったと思いますが、何らの事故も体具合の悪い人もなく、又、天候にも恵まれ和気藹藹とした雰囲気の中、無事、所期の目的を果たすことができたのではないかと思います。お世話になった多くの方々に心より御礼申し上げますと共に、次回にも是非、大勢ご参加頂きますようお願い申し上げます。合掌

大護摩供・落語会開催



たよようです。
当山で御本尊様をご開帳するのは、十二月の大護摩供と二月二日午前〇時に行う元朝大護摩供の二回となっておりますので、是非、この機会にご参拝頂きますようお願い申し上げます。

十月二十七日(日)、恒例の大護摩供を厳修致しました。
当日は入船亭遊一師匠による落語会が開催され、師匠の話術により参列された方々も沢山の笑いを持ち帰られ



除夜の鐘・元朝大護摩供厳修



十二月三十日(土)午後十二時四十五分より恒例の除夜の鐘を執り行いました。

今年も七百名を越える参拝者が訪れ、それぞれの祈りを込め除夜の鐘をついていかれました。

今回は東日本大震災復興チャリティ募金として参拝の皆様が協力して、十二万二千四百十八円の募金が集まり、全額寄付致しました。

この募金は草加市社会福祉協議会の埼玉県



共同募金会を通して被災地の方々に届けられます。ご協力頂きました皆様方に心より厚くお礼申し上げます。



除夜の鐘協賛者芳名
(順不同敬称略)

総代世話人同

(株)伊勢丹浦和店

(有)苑寿

(株)グリーンセレクト

大蔵創建(有)

(有)剣寿司

(株)ウイズコーポレーション

(株)大塚

(株)共栄企画

(株)協和木工

(株)やまと石材

(株)レインボウ

(株)幸隆

(株)味くら苑

(株)味くら苑

山田建設(株)

あゆみ野農業協同組合谷塚支店

大東電気工事(有)

滝野川信用金庫草加南支店

無遮

吉岡昭治

ヘアースペースキノシタ

石田商店

伊勢元酒店

聖天堂・庫裡 落慶法要の開催について

大震災の影響を考慮して延期しておりました落慶法要を縮小して開催することと致しました。
尚、稚児行列についても中止とさせて頂き

従いまして、案内状は総代世話人の役員、くお願い致します。

聖天尊「浴油供」修行について

昨年は本当に多難な年でありました。今年は色々な面で日本が復興、再生の年になりますようお祈り申しあげます。

私も三十年来、聖天尊を信仰して参り、この度、念願の聖天堂を建立することができました。今までは本堂右脇間にお祀りしておりましたが、新たに本堂の右奥、庫裡の北側に建設しました。

この場所は寺の鬼門に当り、聖天尊をお祀りするのには最適かと思いましたが、鬼門に聖天尊を祀り守護神としてお寺を護ると考えたのです。

又、天堂を建立することにより聖天尊最高の供養法である「浴油供」を修することが可能となりました。浴油供とは一般の者の前で行うことは許されない師資相承、

密教最奥の秘法であり、全国でもこれを毎月、厳格に修している寺は恐らく数える程しかないのではないかと思います。

簡単に説明すると「適温に温めた胡麻油を天尊の御頭にそそぎ、それによつて天尊は大いに喜び益々その威光を顕し、弘法の興隆、守護に大いに力を発揮される」というものです。

元々、聖天尊は弘法大師が唐より持ち帰られたものであり、その「御請来目録」にも明記されており、興教大師も「歡喜天講式」を著し、聖天尊の威大なる徳を述べられておられます。

当山では、

本年1月より月に三座、この浴油供を修していくことと致しました。参拝されたい有縁の方がおりましたら寺務所までお声を掛けてください。(境内より直接、参拝はできません。)

では、これより前述しました弘法興隆、密宗興隆、日本の復興を天尊に謹んでお祈り申し上げます。南無大聖歡喜双身天王

住職合掌



子供ふれあい道場の開催について

本年も7月27日(金)に子供ふれあい道場を開催致します。

小学3年生～小学6年生までを対象とし(参加経験者は中学生も可)、お寺という非日常的空間で、普段の生活では味わえない体験を通じて子供たちに命の大事さやしつけ等、人間として大事なことを学んでもらう機会としています。

1年ごとに午前午後の開催を入れ替えており、今年は午前からの開催となります。毎年仏様にちなんだ工作をひとつ作製してもらっております。昨年は腕にはめる数珠を作製してもらいました。

当山の子供ふれあい道場はどなたでも参加できますので、お友達をお誘い合わせの上是非ご参加ください。

(定員30名)

檀家の皆様には、例年通り6月頃案内状を送付させていただきますので宜しくお願い致します。



三月彼岸法要コンサート開催について

3月17日(土)午後2時～2時30分までの間、草加市演奏協会によるコンサートを開催致します。

この彼岸会に於けるミニコンサートは、どなたでも自由に聴く事が出来ますので、大勢の方に聴きにきて頂きたいと思ひます。尚、参加費は無料です。



花まつり法要の開催について

4月6日(金)午前11時よりお釈迦様の誕生を祝して花まつり法要を厳修致します。どなたでも参列出来ますので、この機会にお釈迦様の誕生仏に甘茶をかけて是非お参り下さい。

尚、花御堂は4月6日(金)～4月8日(日)の期間、本堂



正面に安置しますので、ご家族そろってご参拝下さい。

お釈迦様の教えに学ぶ

真理を喜ぶ人は、
心きよらかに澄んで、
安らかに卧す。
聖者の説きたまうた真理を、
賢者はつねに楽しむ。

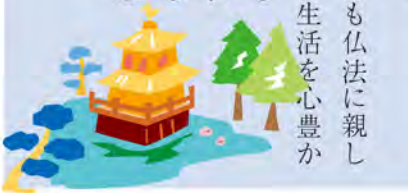
法句経(七十九)

仏の説いた教えを信じ、その教えに親しむことにより、自分の心が百
日清められ、休息の時間
である睡眠も安らかなも
のになつていく。

に親しむ必要があると思
います。仏法に親しむこ
とにより、おのずと、仏の
心である「慈悲心」の体
得につながっていくのでは
ないでしょうか。

我々の生活の中には常
に不安になる種がありま
すが、時にはそうした不
安が掃され、安心(あん
しん)の境地に達するこ
ともあります。仏教では
この「あんしん」を「あん
じん」と読みます。安心
(あんじん)とは、気掛か
りな事が無く、心が落ち
着き安定している状態を
いいます。「あんじん」に近
づく為には、やはり仏法

そして仏の教えの中
に、我々一人一人が抱えてい
る悩みや苦しみを解決す
る糸口が沢山説かれてい
るのです。
皆さんも仏法に親し
み、日々の生活を心豊か
に充実し
たもの
に充実に
してもら
いたいと思
います。



ホームページのご案内

当山では平成22年元旦よりホーム
ページを開設しております。

寺の活動や事業等について広くお知
らせし、理解と関心を持っていただけれ
ばと願っております。是非ご覧頂
きますよう御案内申し上げます。



泉蔵院ホームページアドレス
<http://www.senzoin.com>

「御詠歌講員」募集中!

一緒にご詠歌をお唱えしてみませんか

毎月三回 練習日 火曜日



※暗くなつての
墓参りは
ご遠慮下さい。



「經典読誦会」
会員募集中!

月に一度、一緒にお経を
お唱えしましょう!

毎月第一日曜日午後七時より

今後の行事案内

- 三月十七日～二十三日…春彼岸
- 三月十七日……………春彼岸コンサート
- 午後二時
- 三月二十日……………写経会 午後時
- 四月六日……………花まつり法要
- 午前十時
- 四月六日～八日……………花御堂安置
- 四月十四日……………聖天堂庫裡落慶式
- 七月十三日～十五日……………お盆(東京)
- 七月二十七日……………子供ふれあい道場
- 八月十三日～十五日……………お盆
- 八月十六日……………大施餓鬼会
- 法話 午後二時
- 九月十九日～二十五日……………秋彼岸
- 法要 午後二時三十分
- 十月二十五日……………大護摩供
- 落語寄席 午後時三十分
- 大護摩供 午後二時三十分
- 十一月三十日……………除夜の鐘 午後十時四十五分
- 元朝大護摩供 午前〇時
- 平成二十五年月日……………元朝大護摩供 午前〇時

編集
雑記

震災から早や1年が経過しようとしております。日々の生活は少しずつ穏やかさを取り戻しつつありますが、被災地では復興のきざしが見えずつもまだまだ大変な状況下にあります。

別紙として同封させて頂いた通り、震災で犠牲になられた方の供養と被災地復興を祈る為に、3月21日に写経会を開催致します。是非参加頂き、皆様方の真心を犠牲者の供養と被災地復興の思いとして一文字一文字に託して頂きたいと思ひます。

(小宮山学道)